



〈雑録〉工業品ノ検査制度ニ就テ

松崎, 壽

(Citation)

経済學商業學國民經濟雜誌, 24(6):925-930

(Issue Date)

1918-06

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052897>



雜 錄

工業品ノ検査制度ニ就テ

商學士 松 崎 壽

國家ガ工業者ノ製品ヲ検査シテ其品質ヲ證明スルノ制度ハ、直接ニ工業其モノヲ保護獎勵スルノ方策ニハアラザレドモ、間接ニ同一ノ目的ヲ達シ得ベキコトハ固ヨリ想像ニ難カラザル所ナリ。蓋シ工業者ガ無謀ノ競争ヲ企テ單ニ價格ノ低廉ナルヲ主眼トシテ粗惡ナル製品ヲ出ストキハ、斯ル工業者ハ結局蹉跌ヲ免レザルハ自明ノ理ナリト云フベシ。然レドモ斯ル場合ニ其製品ノ販路ガ國內ニ止マルトキハ右ノ粗製濫造ヲナシタル工業者ガ單獨ニ其責ヲ負フニ止マリ、一國工業ノ發達ヲ阻止スルガ如キ危險ハ殆ンド存セザルベシト雖モ、之レニ反シテ其製品ガ汎ク海外ノ市場ヲ販路トスル所謂輸出工業品ノ部

類ニ屬スルトキハ、單ニ一二ノ工業者ガ粗製濫造ヲナシタル爲メ、其國ニ於ケル同種工業品ノ全部ハ亦同様ノ疑惑ヲ被リテ外國需要者ノ信用ヲ失ヒ、爲メニ其販路ヲ縮少セラル、ニ至ルノ危險アリ。從ツテ輸出工業品ニ對シ國家ガ取締方策ヲ講ジテ粗惡ナル製品ノ輸出ヲ禁遏シ、或ハ特殊ノ検査所ヲ設立シテ嚴重ナル検査ヲ行ヒ之レニヨリテ粗製濫造ノ弊害ヲ防止シ、併セテ自國製品ノ聲價ヲ維持スルノ方策ヲ講ズルコトハ内國ノ工業ヲ助長スルニ就キ必要ノ手段タルノミナラズ、對外商業政策上ヨリ看ルモ緊要ノ施設ト言ハザルベカラズ。

然レドモ工業品ノ検査制度ハ必ズシモ輸出工業品ニ於テノミ其必要ヲ看ルモノニアラズ、場合ニヨリテハ内國工業品ニ對シテモ亦必要ノ制度ナリトス。蓋シ今日ノ如ク代用品模造品ノ盛ニ行ハル、時代ニ在リテハ單ニ外觀ニヨリテ品質ノ眞偽ヲ鑑別スルコト困難ナルガ故ニ、品質ノ優良ニシテ高價ナル製品ハ動モスレバ其外觀ノ同一ナルト、價格ノ低廉ナルトノ原因ニヨ

リ品位ノ劣惡ナル代用品模造品ニヨリテ壓倒セラレ、其販路ヲ失フニ至ルノ危險ナキニアラズ。斯ル場合ニ國家、公共團體若クハ確實ナル私人團體ガ製品ノ検査鑑定ヲナシテ其品質ヲ證明スルトキハ、優等品ト劣等品トノ區別ヲ明瞭ナラシメ、延イテ優秀ナル工業ヲ保護獎勵スルノ利益アルヤ勿論ナリ。而シテ又技術ノ進歩著大ニシテ工業品ノ種類ノ激増スル現時ニ於テハ、品質ノ等級、眞偽等ヲ鑑別スルニ特別ノ技能ヲ必要トスベク、或ハ精巧ナル機械、大規模ノ設備等ヲ要スベキガ故ニ、斯ル技能又ハ設備ハ箇々ノ需要者ノ克ク企圖シ得ル所ニアラズシテ、勢ヒ之レヲ國家、公共團體若クハ私人團體ノ施設ニ俟タザルヲ得ザルナリ。要スルニ検査制度ハ輸出工業品ノ場合ニハ一般ニ一國工業ノ獎勵策トシテ、又内國工業品ノ場合ニハ優良工業ノ保護策トシテ共ニ必要ナル方策ト云フベキナリ。

工業品ノ検査制度ハ歐洲ニ於テハ産業ニ對スル國家ノ干涉ノ強烈ナリシ近世初頭ノ重商主義時代ニ旺シニ行ハレタル所ニシテ、殊ニ此制度

ヲ極端ニ實施シタルモノハ重商主義ノ權化ト稱セラル、佛國ノコルベヤナリトス。即チコルベヤハ一六六四年製造上ノ取締ニ關スル法令ヲ制定シテ百五十種以上ノ製品ニ對シ、其品質、製造方法等ニ關スル詳細ナル規定ヲ設ケ、之レニヨリテ検査制度ヲ勵行セリ。而シテ當時各都市ノ検査所ニ於テ製品ニ添付セル検査證ハ佛國工業品ノ聲價ヲ維持スル憑證トナリ、他ノ歐洲諸國ニ於テモ此制度ヲ模倣スルモノ少ナカラズ、一時汎ク各國ニ行ハレタリ。然ルニ其後工業ノ發達ト自由思想ノ横溢ニヨリ産業ニ對スル干涉制度ノ撤廢セラル、ニ及ビ、此制度モ自然ニ消滅ニ歸スルニ至レリ、ロツシヤニ縱ハバ歐洲諸國ニ於テ検査制度ノ消滅セル原因ハ(一)官吏ノ無能ト検査規程ノ勵行困難ナリシコト(二)商業上ニ於タル需要ノ變遷ニ應ズル能ハザリシコト(三)最モ多クノ場合ニ於テハ無用ノ長物ナリシコトノ三點ニ歸スベキモノナリト云フ。

二

翻ツテ我國ノ狀態ヲ看ルニ維新以來外國貿易

ノ俄ニ發達スルニ及ビ、我國固有ノ工業品ニシテ外國人ノ嗜好ニ投ジ、海外市場ニ輸出セラル、モノ益々増加スルニ至リシガ、我工業者及ビ輸出貿易業者ノ内ニハ、外國ノ需要者ガ我國ノ事情ニ暗ク製品ノ鑑別ニ熟練セザルニ乘ジ粗惡ナル商品ヲ出シテ單ニ一時ノ利益ヲ貪リ、或ハ品質ノ不整、引渡期日ノ遲滯等種々ノ不正ナル行爲ヲ敢テシテ商業取引ノ圓滑ヲ妨ゲタルコト一再ニシテ止マラザリキ。サレバ粗製濫造ト商業道德ノ頹廢トハ我商工業者ノ常習タルガ如キ觀ヲ呈シ、爲メニ海外市場ニ於ケル我製品ノ聲價ヲ失墜スルコト少ナカラズ、輸出貿易ニ大ナル障害ヲ與ヘタリ。而カモ此等ノ缺墜ハ之レヲ當業者ノ自制ニ委スルモ、急速ニ其矯正ヲ圖ルコト至難ニシテ、延イテハ工業ノ發達ヲ阻止スルガ如キ弊害ヲ齎スニ至リシカバ、政府ハ検査制度ノ採用ニヨリテ之レヲ防止セントシ、先ヅ輸出工業品ノ大宗タル生絲ニ對シテ明治二十九年生絲検査所ヲ設置スルニ至レリ（生絲検査所法明治二八、法律三三）。次デ一般工業ニ關スル試験、分析及ビ鑑定

等ヲナスガ爲メニ工業試験所ヲ設ケ、更ニ輸出ノ花筵（花筵検査規則明治三、羽二重（羽二重検査規程明治八、勅令一六一號））、羽二重（羽二重検査規程明治四、農商務省訓令三號）及ビ絹織物（輸任絹織物検査規程大正四、農商務省訓令三號）ニ對シテモ夫々特別ノ検査規則ヲ設ケテ、政府自身又ハ各府縣ニ於テ其検査所ヲ設置シ、又臺灣ニ於テハ移出又ハ輸出ノ臺灣帽子ニ對シテ同一ノ制度（臺灣帽子検査規則明治四、臺灣絲督府令四一號）ヲ設ケ、以テ其検査ヲ勵行スルコト、ナレリ。其他尙私人ノ團體タル同業組合及ビ其聯合會ニ於テ工業品ノ検査ヲナセルモノ少ナカラズ。輸出眞田及ビ燐寸製造業者ノ組合ノ如キハ其重モナルモノニシテ、尙花筵業者ノ如キモ同業組合ヲ組織シテ政府ノ検査以外ニ之レヲ勵行シツ、アリ。

次ニ生絲、花筵、羽二重ノ三者ニ就キ検査制度ノ梗概ヲ述ベンニ、生絲ノ検査ハ原量、正量、練減、品位ノ四項ニ分チテ之レヲナシ、又品位ニ關シテハ更ニ再練、織度、類節、強力及伸度ノ四點ニ分チテ之レヲナスモノナレドモ、此等ノ検査項目ハ請求者ノ隨意ニ選擇スルヲ得ルモノニシテ其全部又ハ一部ニ對シテ検査ヲ受クル

コトヲ得ベシ。斯クノ如ク生絲ノ検査制度ハ其検査項目ニ關シテ請求者ノ自由選擇ヲ許スノミナラズ、本來検査ヲ受クルト否トモ亦當業者ノ任意ニシテ、即チ本邦製産ノ生絲ヲ賣買スル者ハ内外人ヲ問ハズ検査所ニ對シ其検査ヲ請求スルヲ得ベク、検査所ハ無手數料ヲ以テ之レガ検査ヲナスモノトス^(生絲検査、所法二條)、從ツテ此制度ハ所謂任意的の制度ニシテ検査ヲ經ザルモ輸出品トナスニ何等ノ支障アルモノニハアラザレドモ、實際ニハ検査ニ合格セルモノ、方需要者ノ信用ヲ購フコト容易ニシテ、取引上至大ノ利便アルガ故ニ検査件數ハ逐年増進シテ輸出貿易ノ振興上少ナカラザル效果ヲ齎シタリ。尙生絲検査所ハ叙上ノ検査ヲ施行スルノ外、生絲検査上必要ナル研究調査、化學的試験及ビ生絲整理工ノ養成ヲモナシタルモノナレドモ、最近ニ至リ化學的試験ニ關スル事務ハ之レヲ分離シテ別ニ絹業試験所ヲ設ケ、一般ニ絹業ニ關スル試験及ビ鑑定ヲコトヲ掌ラシムル事トナセリ^(絹業試験所官制、大正七勅令吳號)。

花蕊ノ検査ハ原料、染色、模様、地合、經絲

數、耳仕上、縁仕上、長幅、量目並ニ品位、品質ノ十一項ニ關シテ之レヲナスモノニシテ、生絲及ビ輸出羽二重等ニ比スレバ其検査ノ範圍極メテ廣汎ナリ。而シテ其検査ハ強制的ニシテ、検査項目ニ關シ自由選擇ヲ許サルハ勿論、検査ニ合格セルモノニアラザレバ輸出スルヲ得ザルコト、シ^(花蕊検査、規則一條)、尙花蕊ノ検査ニ對シテハ少許ノ手數料ヲ徵收スルモノトセリ。要スルニ前條ノ工業試験所ハ勿論生絲及ビ花蕊ノ検査所ハ共ニ農商務省ノ主管ニ屬スルモノニシテ、即チ國家ノ施設ニ外ナラズ。

然ルニ此等ト多少趣キヲ異ニセルハ羽二重及ビ絹織物ニシテ、即チ輸出羽二重及ビ輸出絹織物ニ關シテハ政府ハ自ラ検査所ヲ設置スルコトナク、一定ノ準則^(大正四、農商務省令一一號)ニヨリ北海道廳又ハ各府縣ヲシテ検査所ヲ設立シ以テ検査ヲ勵行セシムルコト、ナセリ。輸出羽二重ノ検査ハ

(一)品位 (二)量目 (三)長 (四)幅 (五)瑕疵、汚染 胴切其他ノ缺點ノ五項ニ分チ、又品位ハ更ニ絲質、組織、製織、精練、整理ノ四點ニ小別シテ

之レヲナスベキモノニシテ、此等ノ項目ニ關シテハ自由選擇ヲ許サバレドモ検査其モノハ任意のタルヲ原則トセリ。尤モ細目ノ規定ハ各府縣ノ指令ニ委シアルヲ以テ必ズシモ其撥ヲ一ニセザルガ如ク、例ヘバ福井縣ニ於テハ検査ヲ受ケザル輸出羽二重又ハ精練セザル輸出羽二重ハ之レヲ縣外ニ搬出スルヲ得ザルモノト定メタルガ故ニ（福井縣輸出羽二重検査規、則明治四四、縣令四九號）、其實質ニ於テハ強制的検査制度ト殆ンド逕庭ヲ有セザルベシ。要スルニ輸出羽二重ノ検査制度ガ同商品ノ輸出ヲ獎勵スルニ就キ大ナル效果ヲ奏シタルハ蓋シ爭フベカラザル事實ナリトス。輸出羽二重ニ關シテハ右ノ検査制度ノ外輸出羽二重取締規則（明治三八、農令五號）アリテ、其地質ニ増量ノ目的ヲ以テ水分ヲ附着セシメ、或ハ「マグネシウム」鹽類、錫鹽類、糖分等ヲ施用スルガ如キ行爲ヲ禁ジ、又輸出羽二重精練業法（明治三九、法律二九號）ヲ以テ總テ該精練業ヲ營マントスルモノハ地方長官ノ許可ヲ受クベキコトヲ規定セリ。

三

我國ニ於テハ其他検査制度ニハアラザレドモ輸出ノ眞田、石鹼及ビ飲食物罐詰等ニ對シテ特殊ノ取締規則ヲ設ケ以テ粗惡ナル工業品ノ輸出ヲ禁止セリ。今最後ノ輸出取締規則ハ暫ク之レヲ措キ、本論ノ検査制度ニ關シテ其價值ヲ考慮スルニ、此等ノ制度ガ我貿易ノ振興上有力ナル貢獻ヲナシタルハ掩フベカラザル事實ニシテ世人ガ其眞價ヲ過重視シタルモ決シテ故ナキアラズ。然レドモ若シ之レノミニヨリテ由來我輸出貿易ノ固疾タル粗製濫造ト商業道德ノ頹廢トヲ根本的ニ癒治シ得ベシト考フルモノアラバ、吾人ハ其過ギタルヲ指摘セザルヲ得ズ。元來我輸出工業品ガ品質ノ粗惡、取引條件ノ不履行等ノ理由ニヨリ海外市場ニ於テ不評ヲ招キタルハ我當業者ノ不道德ナルニノミ由ルモノニアラズシテ、或ハ生産技術ノ幼稚ナル爲メ劣等ナル製品ヲ出シタルニ基クコトモアルベク、或ハ其工場組織ガ手工業、家内工業等ノ小規模工業ニシテ所謂分散的經營ニヨレル爲メ、整一セル製品

ヲ多量ニ供給スルコト不可能ナルガ故ニ、斯ル幼稚ナル工業ヲ以テ需要ノ範圍廣汎ナル世界市場ニ對スルトキハ勢ヒ品質ノ不整、引渡期日ノ遲滯等ヲ惹起サルヲ得ザリシニ由ルコト固ヨリ少ナカラザルナリ。從ツテ斯ル失墜ヲ排除セント欲セバ先ヅ工業組織ノ發達ヲ圖リテ多量ノ供給ヲナス必要アルガ如キ輸出工業品ノ生産ハ速カニ家内工業ヨリ工場制工業ニ遷ラシムルヲ有利トスベク、斯クセバ精巧ナル機械ノ使用ニヨリ、或ハ科學的經營方法ノ採用ニヨリテ生産技術ノ向上ヲ圖ルコトモ左迄困難ノ事業ニハアラザルベシ。而シテ之レト共ニ一方ニハ検査制度ノ併用ニヨリ單ニ目前ノ利益ヲ收メンガ爲メニ一國工業ノ利害ヲ顧慮セザルガ如キ當業者ノ不正行爲ニ對シテハ嚴重ナル取締ヲナスヲ要スベキナリ。

然レドモ此等ノ場合ニ於テモ検査制度ノ施行範圍ハ之レヲ技術的缺點ノ矯正ニ限ルベク、商業的知識ニ於テ缺クル所アル官吏ヲシテ商品トシテノ適不適ヲ査定セシムルガ如キハ其當ヲ得

タルモノニアラザルヤ勿論ナリ。此點ヨリ論ズレバ検査制度ハ任意的ニシテ検査、鑑定ノ請求ヲ當業者ノ自由選擇ニ委スルヲ本旨トシ、現行ノ我花莖検査制度ノ如ク極メテ汎キ範圍ニ互リテ其検査ヲ強制スルトキハ自然ニ技術的境界ヲ脱シテ商品トシテノ適否ヲ定ムルノ結果トナリ輸出貿易ニ對スル無用ノ障壁ヲ樹ツルニ過ギザルコト、ナルベシ。殊ニ検査制度ガ内國工業品ニ對シテ設ケラル、場合ニハ絶對ニ任意的制度タルヲ適當トナサルベカラズ。何トナレバ内國工業品ニ對スル検査制度ハ優良工業ノ保護策ト稱セラル、モ、實ハ個々ノ工業者ヲ擁護スルヲ主眼トスルモノナルガ故ニ、彼等ガ保護ヲ希望セザル場合ニ之レヲ強制スルハ無用ノコトナレバナリ。要スルニ検査制度ハ工業ノ比較的幼稚ナル時代ニ於テハ殊ニ緊要ナル施設ナリト雖モ、其效果ハ他ノ種々ナル保護獎勵策ト相俟ツテ始メテ十全ナルヲ期シ得ベク、之レノミニヨリテ工業乃至輸出貿易ノ助長ヲ圖ラントスルハ聊カ其價值ヲ過當ニ見積ルモノト云フベキナリ